

新座市DX推進計画（案）への御意見等と御意見等に対する市の考え方

- 1 意見募集期間：令和4年6月1日（水）～同月30日（木）
- 2 提出者数・意見数：2人、3件
- 3 提出された御意見と御意見に対する市の考え方
 - ◎：意見のとおり素案を修正したもの
 - ：意見どおりではないが、素案の一部修正したもの
 - △：素案の修正は行わないが、今後の参考・検討課題とするもの
 - ：素案を修正しないもの／意見を採用しないもの

No.	指摘箇所	提出された御意見	御意見に対する市の考え方	市の方針
1	P10 第4章 DXの推進に向けた取組 1 重点取組事項 (3) 行政手続のオンライン化	実際に、新座市で妊娠・出産・子育てをしております中で、以下の行政手続きのオンライン化が出来ますと良いかと考えました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠の届出 <ul style="list-style-type: none"> → つわりのある時期と思いますので、保健師の方と直接対面でお話せずとも WebMTG で妊娠の届出が出来たら良いです。また、書類の提出も Web 上でできると有り難いです。 ・ 保育園の入園の届出の Web 化 <ul style="list-style-type: none"> → 保育園入所の関わる申込みを全て Web 上で完結できると良いと考えます。また、申込みに関わるお互いの確認は WebMTG で実施するのはいかがでしょうか。今後、AI で保育所の入所審査を計画中とのことでしたので、事前に利用者に Web で入所希望に関するデータを入力してもらうほうが手間が省けるのではないかと考えます。実際の申込者はシニア世代とは違い、PC・スマホの操作に何ら問題はないと思います。問題がある場合にのみ、紙面での提出をお願いするのはいかがでしょうか。一般企業でも Web 打合せや Web 申請が浸透しておりますように、来庁しなくても Web で MTG させていただき、従来の行政サービスをいただくことが出来ますと有り難いと思います。 	妊娠の届出や保育施設等の利用申込につきましては、国が示す自治体DX推進計画等において、優先的にオンライン化すべき手続とされております。これにより、本市におきましても令和4年度中の実施に向けて、関係部署と連携を図りながら準備を進めているところです。一方で、オンラインによる各種御相談につきましては、情報セキュリティ確保及び個人情報保護の観点から、直ちに実施することは困難ですが、市民の皆様の利便性向上につながる仕組みでありますことから、今後のDX関連施策の検討に当たっての参考とさせていただきます。	△
2	P17 第4章 DXの推進に向けた取組 2 その他の取組事項～市民の利便性を向上する取組～ (1) 地域社会のデジタル化	新座市もDXという新しいワードを取り入れること自体に感動しました。DXを知らない方がほとんどだと思いますので。とてもいい活動かと思えます。これにより町全体の利便性が上がり、またコロナ禍の中で、非接触の生活に拍車がかかると感じました。2022年5月現在で、スマホの普及率が94%となり、高齢の方でもスマホを持っている方がほとんどです。SNSの活用も60代の方は82.7%、70代も58.6%と高く、デジタル化に向けて高齢者への問題も少なくなりました。やはり、加速していくためには、「新座市民向けのアプリ」の開発が必要かと思えます。それをスマホにダウンロードし、新座市の情報を発信する。マイナンバーと連動し、いろいろな書類もスムーズに対応出来るかと思えます。また役所では、画像通話やZOOMを採用し、役所に行かなくても、フェイス to フェイスで会話が出来たり、打合せが出来たりとこちらもコロナ禍の対応が出来ることとなります。新座市で働く人のコミュニティーの場、発言の場を設け、市民同士の活気に繋がるコンテンツの作成。また、新座市独自の通貨「アトムコイン」をキャッシュレス決済として採用するなど。そのアプリさえあれば、新座市の情報は得られるシステムになります。ペーパーレスにも繋がります。	市では、現在、ホームページをはじめ、LINE公式アカウント、Twitter、Facebookなどを利用し、電子媒体を通じた情報発信を実施しております。今後もSNS等での情報発信の充実を図るとともに、市民向けアプリにつきましても、先事例などの研究を進めるなど、頂きました御意見は今後のDX関連施策の検討に当たっての参考とさせていただきます。	△

No.	指摘箇所	提出された御意見	御意見に対する市の考え方	市の方針
3	P17 第4章 DXの推進 に向けた取組 2 その他の取組事 項～市民の利便性を 向上する取組～ (1) 地域社会のデジ タル化	古き良きものと新しい技術の融合も必要です。 例えば、平林寺。歴史ある建物がありながら、ここ最近では観光としては寂しいものがあります。 夜のライトアップでプロジェクトマッピング技術を取り入れるなどして、新座市に人を呼ぶこと など。 いかに、新座市民へ価値ある情報の提供と、課題解決をするのかが今後の焦点になります。	夜のライトアップについては、平林寺向かいの睡足軒の森 にて、紅葉の際に実施していましたが、諸般の事情によ り、平成30年度の実施をもって休止させていただいており ます。 頂きました御意見は、今後の参考とさせていただきます。	△

※ 提出された御意見に対する市の考え方については、新座市DX推進計画（案）を作成した時点での市の考え方を示すものです。
したがって、意見募集結果に対する現時点での市の考え方を示すものですが、今後、最終案として取りまとめる中で、今回お示した市の考え方を一部変更する場合がありますので、御承知おきください。